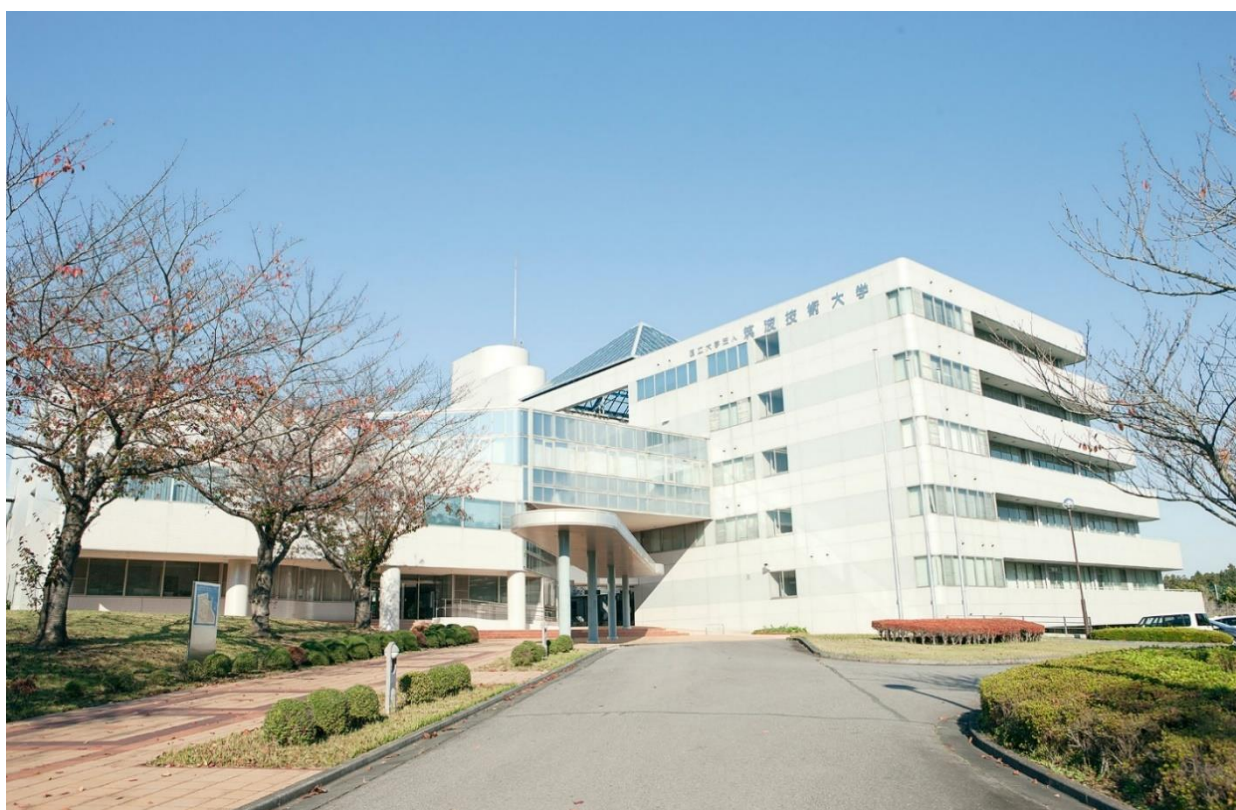


平成30年度 文部科学省

「障害者の多様な学習活動を
総合的に支援するための実践研究」
委託事業

障害者の学校卒業後のキャリア発達支援 とスポーツ活動を通じた生涯学習支援に 資する学習プログラムの開発

平成30年度 成果報告



国立大学法人 筑波技術大学

本学習プログラムの概要及び成果

1. 学校卒業後の青年期障害者のキャリア発達

障害者が就労上の課題となっているスキルアップやキャリアアップに資する学習プログラム（学び直しプログラム）を開発する。

○社会人向け学び直し講座の開催（本学開催）

1級建築士資格取得を目的とした学び直し講座

参加者数：10日間 延べ10名

情報通信技術に関する学び直し講座

参加者数：7日間 延べ12名

○出張講座（都内開催）の開催

プログラミングスキル獲得を目的とした出張講座

参加者数：5日間 延べ16名

○スキルアップ講座開催マニュアル作成

情報保障の充実した講座開催手法の説明書を作成

2. 多様な年齢層の障害者、健常者が参加するスポーツを通じた生涯学習支援

多様な年齢層、障害種と健常者が参加するスポーツ教室、イベントを実施し、障害者の主体的な社会活動の意欲を向上させるための学習プログラムを開発する。

○障害者スポーツ教室（月1回）の開催

参加者数：延べ424名（1月末現在）

○障害者のためのスポーツイベント（年1回）の開催

参加者数：165名

○障害者対象の体力測定の実施

参加者数：23名

○障害者のスポーツ活動に関するアンケート調査の実施

本プログラムが学校卒業後の障害者において心身の健康の増進等に有効であると示唆された（有効回答数29名）

○障害者アスリートによる講演会の開催

参加者数：25名



3. 共生社会環境醸成のためのワークショップ

健常者と障害者が共同して働きやすい職場環境構築に資するワークショップを開催し，協働環境向上マニュアルやコンテンツを開発する。

○文献調査の実施

聴覚障害のある社員自身による職場改善およびキャリアアップ取組事例の収集

○意見交換会の開催

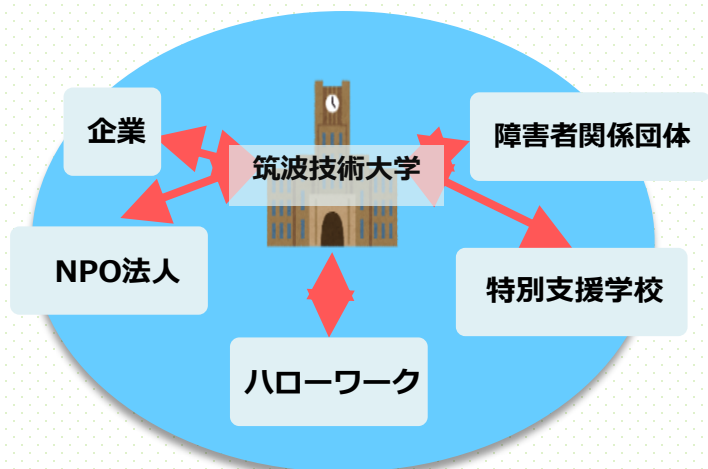
企業等に就職する本学卒業生17名参加

○ワークショップ開催マニュアルの作成

聴覚障害社員自身が職場改善とキャリアアップに主体的に取り組む方法を考えるWS開催手法を作成



連携協議会等の実施・コーディネータの配置



企業の障害者雇用担当者や特別支援学校校長等の学外有識者を構成員とした連携協議会の実施により，障害者の職場定着に資する円滑な移行支援や，学校卒業後の学びに関する実態把握やノウハウを共有する。

○第1回連携協議会

平成30年10月5日実施

○第2回連携協議会

平成31年2月12日実施

ハローワークの障害者雇用指導官をコーディネータ・指導員として配置し，障害者雇用の課題を抽出するとともに，課題の解決のための方策を協議する。



産学官連携シンポジウムの実施

○学校等を卒業した聴覚障害者の就労に関する 産学官連携シンポジウム

平成31年1月23日実施
参加者数：学内外約50名



東京労働局による障害者雇用についての講演，本学卒業生による講演及びパネルディスカッションを行い，障害者雇用に関する理解啓発の促進や情報交換が行われた。

成果・効果

- ・ 障害者自身が主体的にキャリアプランニングするための知識・技術が育成された。
- ・ 社会生活で必須となる障害啓発力が向上した。
- ・ 生涯学習を通じた共生社会の環境を醸成した。
- ・ 障害者のスポーツ・レクリエーション活動を通じた主体的な社会活動参加や生涯学習への参加促進および意欲を喚起した。



○成果報告会

平成31年2月12日実施
参加者数：学内外約50名